

中学1年生は、5月23、24日に1泊2日で、備州窯と国立吉備青少年自然の家へ宿泊研修に行きました。

5月23日(木)



備前焼土ひねり体験

備前市にある備州窯へ行き、岡山
の伝統工芸品である備前焼を作りま
した。岡山にある学校として地域の
伝統、日本の文化を学びました。例年
になく凝った作品を作る人も多かっ
たです。できあがった作品は今度の
文化発表会で展示する予定です。



長縄とび大会

今年度は、入所式の後、クラス対抗の長縄
とび大会を行いました。1分間に何回連続で
飛べるかを競い、男女協力して2時間ひたすら
飛びまくりました。どのようにすれば多く飛べ
るようになるかを工夫しながら汗を流しました。
回し方などを工夫し少しでも多く飛ぶように
チャレンジしました。4組が優勝しました。





キャンプファイヤー

各クラスのトーチ係が営火長から火を分けられ、クラスの誓いの言葉を発表しました。その後、各クラスで校歌を合唱しました。クラスごとに個性あふれる校歌を披露しました。藤山先生からは「校歌を歌う意味が成長するにつれ変化するよ」というとても深い話を聞きました。



5月24日(金)



野外炊事

2日目の午前中は、テントの清掃の後、野外炊事班ごとに協力をしてビーフカレーを作りました。今年ほどのカレーも「愛」がこもっていてとてもおいしいカレーでした。片付けも手際よく、皆協力していました。



まとめ

退所式では職員の方からこれからの生活に向けて「時間の大切さ」などの話を受けました。この研修を通して、集団生活の中で時間を守り、先を見通し準備して行動をしようという心構えは養われたと思います。参加した生徒は疲れたけれど楽しかったと口々に話をしていました。今後の成長に期待したいと思います。

(文責 竹内)